

ただいま 工事現場から



No.10

令和4年1月24日

三島南高等学校普通教室棟外壁修繕他工事

外壁修繕とは??

建物の壁にひび割れやコンクリートの浮きが発生していると、隙間から水が侵入し、中の鉄筋が劣化してしまいます。

そのため、ひび割れや浮きを補修し建物の長寿命化を図ります。

業務概要

- 工事名称 三島南高等学校普通教室棟外壁修繕他工事
- 目的 校舎の長寿命化を図るため、外壁を全面的に補修する。
- 受注者 山本建設株式会社
- 工期 令和3年7月30日～令和4年2月7日
- 施工場所 三島市大場

外壁修繕の流れ

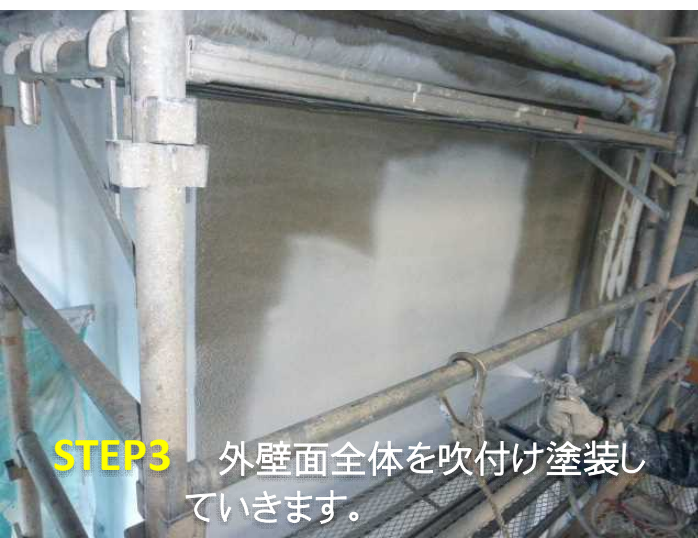
STEP1 足場を組み、外壁面についた埃などを高圧洗浄によって洗い流します。



STEP2 浮き箇所、ひび割れ箇所など調査し補修します。



STEP3 外壁面全体を吹付け塗装していきます。



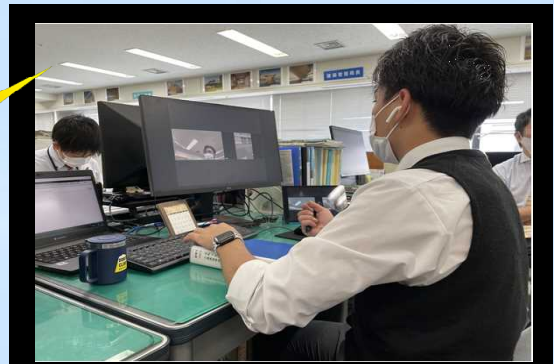
STEP4 仕上げ塗装をしたら完了です。



建設現場の働き方が変わってます。

遠隔臨場、情報共有システムや電子小黒板といったICTを積極的に活用し、現場の生産性向上に努めています。

①遠隔臨場

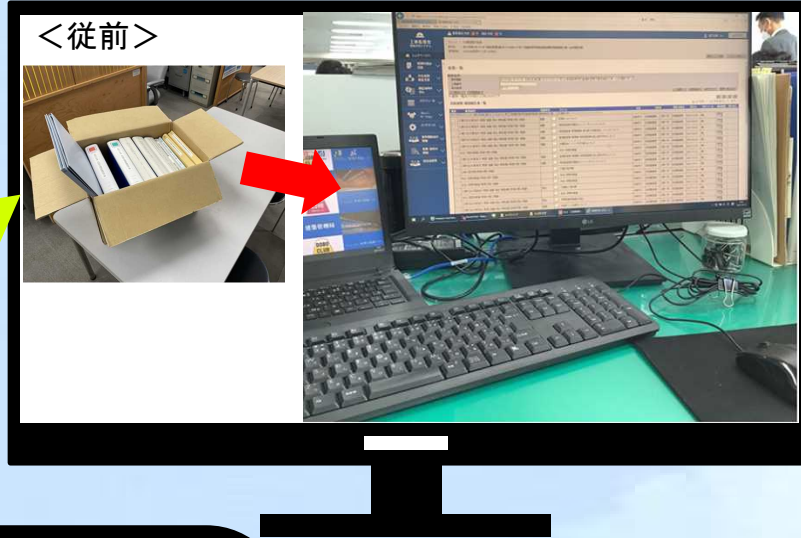


県庁

ネットワークカメラなどを使い、現場から離れた場所で工事状況の確認や材料の確認等を行うことです。移動時間や移動費の削減ができます。

公共工事における受注者と発注者の書類のやりとりをWEB上で行うシステムです。資料提出のための移動時間削減や大量の資料の整理が効果的にできます。

②情報共有システム



③電子小黒板



電子小黒板では必要事項を電子化し、撮影時に写し込んで撮影します。写真撮影や整理などの効率化や省力化が図れます。